



平成 30 年 8 月 22 日

各 位

会 社 名 ウェーブロックホールディングス株式会社  
代 表 者 代表取締役兼執行役員社長 木根 潤  
(コード：7940 東証第一部)  
問 合 せ 先 取締役兼執行役員管理本部長 石原 智憲  
(03-6830-6000)

## 穎台投資控股股分有限公司による当社株式全部売却の件

当社は、大株主である穎台投資控股股分有限公司<sup>(註)</sup>(英語名 Entire Holding Group Ltd. 以下、「エンティア社」)より、保有していた当社株式の全てを売却した旨の連絡を受けましたので、お知らせいたします。

エンティア社が保有していた当社株式数は、当社直近期末(平成 30 年 3 月 31 日)時点で、876,027 株(当社発行済株式に対する割合 約 7.88%)、平成 30 年 5 月 22 日付けで「穎台投資控股股分有限公司による当社株式一部売却の件」としてご報告した時点で 542,027 株(同 約 4.87%)となっておりましたが、その後の売却により当社株式を全く保有しない状況になったとの連絡を受けました。

当社とエンティア社との関係につきましては、平成 30 年 5 月 22 日付けでのご報告からの変更はございませんが、改めて以下に記させていただきます。

エンティア社は、各種ディスプレイ向けの拡散板、導光板を多層押し出し等にて生産、販売する台湾企業で、当社グループが手がける PMMA/PC 二層品等の多層押し出し分野でのパートナーとして、平成 24 年 4 月に資本・業務提携を締結しました。当該提携の中で、両社は株式持ち合いに合意し、当社グループがエンティア社の発行済株式の約 15%を、エンティア社が当社の発行済株式の約 8%をそれぞれ取得しました。

資本業務提携締結時には、エンティア社は台湾での株式上場企業でしたが、平成 28 年 3 月に台湾大手ファンド主導によるエンティア社の株式公開買付が行われ、エンティア社は非上場化しました。その際に当社グループは保有する全てのエンティア社株式を、当該株式公開買付に応募し、当社はエンティア社の株主ではなくなりました。

このように平成 28 年 3 月時点で、当初の株式持ち合い関係は解消となりましたが、今回のエンティア社による当社株式の売却は、株式持ち合い解消の流れの中でエンティア社が実行したものと認識しております。

現時点において当社グループとエンティア社との間には、当社子会社が製造する二層シートを、エンティア社の製造子会社に自動車関連分野等向けとして納入するなどの取引関係があり、今後もこの事業上の関係は継続していくものと考えております。ただし、当該取引は、当社グループ全体の事業規模に対しては重要性のある金額ではないため、今後、当社グループとエンティア社の事業上の取引が縮小することがあった場合にも、当社の事業上の損益等に重要な影響を及ぼすものではないと認識しております。

注)「穎台投資控股股分有限公司」のうち「分」の字は左側に人偏「イ」がつくのが正しい表記です。

以上